

一行詩「男女の詩」の入賞作品が決定

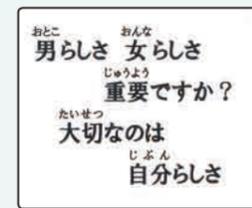
男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて日々感じていること、将来実現させたいことなどをテーマに募集した一行詩「男女の詩」に市内外より185作品の応募がありました。一次選考で選出された作品を11月に市内3施設で巡回展示し、来場者の投票により入賞作品を決定しました。

【問】 総人権・男女共同参画室Tel92-3111



一行詩部門 投票総数 648票

○最優秀賞 84票獲得



林文香さん
30代女性
(群馬県佐波郡玉村町)

○優秀賞

吉浜香織さん(沖縄県宮古島市)
齋藤美佳さん(千葉県船橋市)
山下さやかさん(福井県福井市)

イラスト一行詩部門 投票総数 635票

○最優秀賞 211票獲得



角森玲子さん
50代女性
(島根県安来市)

○優秀賞

大熊俊之さん(古河市大山)
岸一生さん(大阪市)
齋藤美佳さん(千葉県船橋市)

高齢者叙勲

瑞宝双光章

関根光男さん
(88歳、松並)
元特定郵便局長



瑞宝双光章

船木誠さん
(88歳、幸町)
元古河市立
古河第二小学校長



全国大会出場

第56回全国中学校スキー大会

【中学生男子大回転】
細島涼雅さん(古河中等教育学校)

第27回全日本高等学校
女子サッカー選手権大会

岩下未咲さん(鹿島学園高等学校)



表彰

第56回
技能五輪全国大会



【銀賞：工場電気設備】
中田聖也さん(京三電機株)

住み慣れた古河市にいつまでも

～広げよう！ 助けあい・支えあいの地域づくり～

高齢者人口の割合は年々増加を続けており、市民の4人に1人は65歳以上の高齢者となっています。要介護者・単身世帯の増加と社会的孤立の拡大に対応していくためには、住民自身による「助けあい・支えあいの力」が必要とされています。

【問】 高齢者サポートセンター総和Tel92-5920

なぜ「助けあい・支えあい」が必要なの？

地域で暮らす高齢者が普段感じている「ちょっとした困りごと」には、「蛍光灯を交換してほしい」「ゴミ出しをお願いしたい」などがあり、昔は家族や親戚、近所で解決されてきました。しかし、時代の流れと共に家族や地域における社会の在り方は変わってきています。

市ではこうした変化に対応し、日常生活の一部が困難になっても地域で助けあい・支えあって「可能な限り住み慣れた地域で安心した生活が送れる古河市」を実現することを目指しています。



地域の力を集結する取り組み 生活支援体制整備事業

高齢者の自立した日常生活の支援や、要介護状態への予防・軽減・悪化の防止のための体制を整備していきます。

団体や地域間の調整を行うために「地域支え合い推進員」を配置し、協力者とチームを作り会議を開催します。そこで、地域の支えあいのために現在行っていることや、今後無理なくできることなどを話し合います。

平成28年度に、地域支え合い推進員と協力者で市全域を対象としたチームが作られました。今後は、各地区を対象に「支えあえる地域づくり学習会」を開催し、より身近な地域における「助けあい・支えあい」を目指します。皆さん、ぜひご参加ください。

※協力者：自治会・行政区、コミュニティ、老人クラブ、民生委員、ボランティア、NPO法人、在宅介護支援センター、シルバー人材センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター等

県広報コンクールで

「市ホームページ」「広報古河」が入賞

市ホームページと広報古河が平成30年茨城県広報コンクールのウェブサイト部門、広報写真部門で入賞しました。今後も読みやすく親しみのある広報紙などを通して、市政の情報発信に努めていきます。

【問】 秘書広報課Tel92-3111



■ウェブサイト部門：特選
市ホームページ



■広報写真部門(一枚)：準特選
2018年広報古河3月号6ページ



■広報写真部門(組み)：入選
2018年広報古河1月号8-9ページ